

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	21800	環境都市推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市環境基本計画、高山市新エネルギービジョン	市長公約	日本一の自然エネルギー活用都市を目指して高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、風、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、日本一の自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)を目指します。
	課			2	総務費	基本分野		2	環境・景観	実施計画事業		環境都市推進事業		
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	項	1	総務管理費	H28実施計画額	分野	1	地球環境	7,000 千円			
	2282			目	19	環境政策費								

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・地球環境の保護と市民の環境意識の向上及び具体的な行動、参画を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・高山市環境審議会の運営を行う。 ・高山市新エネルギービジョンを推進する。
	対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市環境審議会の開催(審議会3回)</li> <li>・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催(検討委員会5回、地元部会7回)</li> <li>・高山エネルギー大作戦の実施</li> </ul>						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	高山エネルギー大作戦フォーラムへの参加者数	人	目標値	400	400	400	400
		算出根拠等		実績(見込)	450	300	-	-
	活動指標	環境審議会(意見交換会含む)開催回数	回	目標値	113	75	-	-
		算出根拠等		実績(見込)	10	5	5	5
	活動指標	環境審議会(意見交換会含む)開催回数	回	目標値	3	3	2	-
		算出根拠等		実績(見込)	30	60	40	-
	活動指標	算出根拠等	達成率(%)	目標値				
		算出根拠等	達成率(%)	実績(見込)				
	成果指標	算出根拠等	達成率(%)	目標値				
		算出根拠等	達成率(%)	実績(見込)				
	成果指標	算出根拠等	達成率(%)	目標値				
算出根拠等		達成率(%)	実績(見込)					
成果指標	算出根拠等	達成率(%)	目標値					
	算出根拠等	達成率(%)	実績(見込)					
補足	算出根拠等	達成率(%)	目標値					
	算出根拠等	達成率(%)	実績(見込)					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市民、事業者、市民活動団体等と行政が連携し、協働による省資源や環境保護、新エネルギーの導入などといった環境活動に取り組む必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市環境審議会、意見交換会を開催し、環境に関する施策について意見をいただく。</li> <li>・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会を開催し、自然エネルギー導入における「飛騨高山モデル」の仕組みづくりに取り組む。</li> <li>・高山エネルギー大作戦の開催や市民主体の自然エネルギーに関する協議会に参画、連携し、市民及び事業者の意識啓発を図る。</li> <li>・市民との協働により環境に関する取り組みが進むよう、市民活動団体等との連携や市民参加による事業推進に取り組む。</li> </ul>
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input checked="" type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 10,847	7,918	6,993	9,427
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 118	86	77	104
	受益者	(B) 全市民	92,097	91,605	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境審議会の開催</li> <li>・高山市地球温暖化対策地域推進計画、高山市新エネルギービジョンの推進</li> <li>・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催</li> <li>・自然エネルギー普及啓発事業の実施</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会による「飛騨高山モデル」構築に向けた取り組みの深化</li> <li>・市民等による自然エネルギー利用の普及啓発</li> <li>・森のエコハウスの機能向上</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政だけでなく、市民、事業者が連携し、協働して環境活動に取り組む必要がある。</li> <li>・環境負荷の少ない再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの自給自足を目指す必要がある。</li> </ul>
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	6,993	9,427	2,434	5,723	5,723	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	6,993	9,427	2,434	5,723	5,723		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	21810	森林づくり交流推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市環境基本計画 高山市地球温暖化対策地域推進計画	市長公約
	課			2	総務費	基本分野		2	環境・景観	実施計画事業		森林づくり交流推進事業	
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	項	1	総務管理費	分野	1	地球環境	H28実施計画額	5,300 千円		
	2282			目	19	環境政策費		4	低炭素社会の形成				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	概要	事業の実施 手法(手段)	・都市部の自治体、企業等とのカーボンオフセット事業を推進するとともに、エコツアーなどを実施し、交流・連携を図る。 ・間伐材を始めとした地元産材の活用を促進するため、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の活用や都市部の自治体、企業等へのPRなどを推進する。
	対象者数	90,938 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>千代田区との協定による森林整備工事(除伐・枝打ち約11ha)、みどりふれあうフェスティバルへの出展</li> <li>みなと森と水サミット2015、建築・建材展2015に参加</li> </ul>							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	都市部の自治体・企業等との連携交流イベント実施回数	回	目標値	3	3	3	3
				実績(見込)	2	5	3	
				算出根拠等	67	167	100	
	活動指標	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録事業者件数	回	目標値	20	20	20	20
				実績(見込)	12	14	14	
				算出根拠等	60	70	70	
	成果指標	都市部とのカーボンオフセット事業による二酸化炭素吸収量	t-CO2	目標値	78	78	78	78
				実績(見込)	128	130	44	
				算出根拠等	164	167	56	
	成果指標	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度による港区内建築物への木材供給事業者数	件	目標値	2	2	3	3
				実績(見込)	1	2	3	
算出根拠等				50	100	100		
補足				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2削減に向けた都市部の自治体・企業等との継続的な取組みを進めるほか、新たな枠組みや交流・連携の拡大についての検討が必要である。</li> <li>都市部と地元の住民や事業所同士が自主的に連携活動ができる体制づくりが必要である。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンオフセット事業による地球温暖化対策を推進するとともに、都市部の自治体、企業等の各種イベント・行事に参加し、連携・交流のきっかけづくりを行う。</li> <li>高山産の木材流通の促進が図られるように積極的なPRや関係機関への働きかけを行う。</li> </ul>	
次年度の 実施方針	維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林のCO2吸収量の拡大を図るため、千代田区との連携強化とみなとモデルの推進を図るとともに、相互交流をすすめる。</li> </ul>
	拡大	
二次評価	縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きCO2排出量取引など後の財源確保に繋がるような取組みを行う必要がある。</li> <li>「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」については港区内建築物への木材供給の拡大につなげられるよう取組みが必要がある。</li> </ul>
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	5,276	3,967	5,350	3,053
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	57	43	59	34
	受益者	全市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都千代田区との連携、交流</li> <li>東京都港区との連携、交流</li> <li>都市部の自治体・企業等との新たな連携、交流の検討</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都千代田区との森林整備(カーボンオフセット)事業の実施</li> <li>みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2削減に向けた都市部の自治体、企業等との継続的な取組みの仕組みづくりの検討が必要である。</li> <li>地域材の木材流通の促進を図るPR方法を検討する必要がある。</li> </ul>
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源 内訳	歳出(千円)	5,350	3,053	△ 2,297	5,350	5,350	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	3,000	1,259	△ 1,741	3,000	3,000		
	その他	1,000	402	△ 598	1,000	1,000		
	一般財源	1,350	1,392	42	1,350	1,350		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	21820	自然エネルギー普及促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市環境基本計画 高山市新エネルギービジョン	市長公約	日本一の自然エネルギー活用都市を目指して高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、風、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、日本一の自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)を目指します。家庭・事業所・施設などにおける自然エネルギー活用モデルエリアを整備します。
	課			2	総務費	基本分野		2	環境・景観	実施計画事業		自然エネルギー普及促進事業		
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	項	1	総務管理費	H28実施計画額	分野	1	地球環境	35,000 千円			
	2282			目	19	環境政策費								

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・自然エネルギーを活用した「飛騨高山モデル」の構築などによる自然エネルギーを活かしたまちづくりの推進	概要	事業の実施手法(手段)	・太陽光発電や木質バイオマス利用設備の導入に対する助成 ・市民や事業者による新エネルギー設備の導入促進
	対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		・ベレットストーブ等の設置、ベレット燃料等の購入に対する助成 ・太陽光発電システム設置に対する助成						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		ベレットストーブ等導入台数	台	目標値	105	250	250	200
		算出根拠等		実績(見込)	92	78	36	
				達成率(%)	88	31	14	
	活動指標	指標名	単位	目標値	670	910	1,000	-
		住宅用太陽光発電システムの市内導入世帯数	世帯	実績(見込)	642	690	-	
		算出根拠等		達成率(%)	96	76		
	成果指標			目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
	活動指標			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・ベレットストーブ等の設置に対する補助件数は、ほぼ横ばいで推移しているため、増加に向けた取り組みを図る必要がある。 ・市民及び事業者への周知を効果的にを行い、本事業の活用促進を図る必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・木質バイオマスの利用に関するメリットや必要性などについて周知を行うとともに利用者の意見を制度活用の推進につなげる。 ・公共施設における木質バイオマスの導入を検討する。	
次年度の実施方針	維持・改善 ○ 拡大 縮小 廃止検討	申請件数はほぼ横ばいであるが、CO2排出量の削減、木質バイオマスの活用による循環型社会の構築と地球温暖化の防止に大きな効果が期待できるため、引き続き実施する。 ・木質バイオマスの利用を促進するための制度の周知や利用者意見の把握を行うとともに、他の事業とも併せて木質バイオマスの利用を促進する。 ・公共施設における木質バイオマスの導入をすすめる。
	二次評価 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	16,038	13,628	30,000	28,300
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	174	149	330	311
	受益者	全市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・ベレットストーブ、薪ストーブの購入に対する助成 ・ベレットボイラー、薪ボイラーの購入に対する助成	要求のポイント	・木質バイオマスエネルギー活用の推進 ・小水力発電コンテストの開催	事業実施の課題	・市民等への周知を図り、自然エネルギーの導入を促進する必要がある。
------	--	---------	--------------------------------------	---------	-----------------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	30,000	28,300	△ 1,700	98,400	100,400	・積算内容を精査 ・自然エネルギー活用支援に要する経費を計上 ・木質バイオマスセミナーに要する経費は、H27年度3月補正予算に計上	・木質バイオマスの活用促進に要する経費を計上
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0	69,800	69,800		
	一般財源	30,000	28,300	△ 1,700	28,600	30,600		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	21840	地球温暖化対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市環境基本計画 高山市地球温暖化対策地域推進計画	市長公約
	款			2	総務費	基本分野		2	環境・景観	実施計画事業		地球温暖化対策事業	
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線 2282	項	1	総務管理費	分野	1	地球環境	H28実施計画額	6,000 千円		
	目	19		環境政策費	施策概要	5		自然エネルギーを活かしたまちづくり					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・温室効果ガス排出量を削減する手段や仕組みを導入し、低炭素社会を構築する。(※1990年度比で2020年度までに温室効果ガス排出量25%削減を目指す。)	概要	事業の実施手法(手段)	・太陽光発電システム設置に対する助成制度により普及促進を図る。 ・施設緑化用樹木を購入し、公共施設の緑化を図る。 ・防災拠点施設(指定避難所)に太陽光発電と蓄電池を整備し、新エネルギーの導入と防災力の強化を図る。
	対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>電気自動車用急速充電器の設置 2基</li> <li>防災拠点施設整備事業の実施(10施設設置、5施設設計)</li> <li>施設緑化用樹木の購入</li> <li>太陽光発電システム設置に対する助成制度の実施</li> </ul>						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	成果指標	住宅用太陽光発電システムの市内導入世帯数	世帯	目標値	670	910	0	0
		算出根拠等		実績(見込)	調査中	調査中	-	-
	成果指標	温室効果ガス排出量の削減率	%	目標値	25	25	25	25
		算出根拠等		実績(見込)	8	調査中	調査中	-
	成果指標	小中学校等環境学習参加者数	人	目標値	50	50	50	50
		算出根拠等		実績(見込)	17	5	2	-
	成果指標	電気自動車用急速充電器利用台数	台	目標値	730	1,460	2,190	2,920
		算出根拠等		実績(見込)	985	2,161	2,390	-
	補足				目標値			
算出根拠等			実績(見込)					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガス排出量の削減や再生可能エネルギーの導入促進を図るため、地域特性に合った再生可能エネルギーの導入をすすめる必要がある。</li> <li>市民、事業者の新エネ、省エネに対する意識喚起と導入に向けた機運を高める必要がある。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災拠点施設(指定避難所)に再生可能エネルギー設備等を導入し、防災力の強化と環境負荷の小さい低炭素型の地域づくりを推進する。</li> <li>市民参加による新エネルギーの導入を促進するため、公共施設を活用した市民協働発電所制度の導入を図る。</li> <li>地域における新エネルギー導入に対する支援策の検討を行う。</li> <li>電気自動車用急速充電器を設置し、次世代自動車の導入を促進させ、一層のCO2削減を図る。</li> </ul>	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災拠点施設(指定避難所)への新エネルギーの導入や電気自動車用急速充電器の設置などといった事業は終了となるが、当該設備の稼働状況などをふまえ、今後の施策に向けた検証と新たな施策の検討を行う。</li> <li>市民や事業者との連携による新エネルギーの導入や二酸化炭素排出量削減の取り組みを推進する。</li> </ul>
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>新エネルギーの導入にあたっては、地域活性化や新産業創出の視点を組み入れるとともに、国のエネルギー政策の見直しに留意する必要がある。</li> <li>CO2排出量がどの程度削減されたのか、事業の効果検証を行う必要がある。</li> </ul>

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	31,069	329,753	22,200	6,298
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	337	3,600	244	69
	受益者	全市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	温室効果ガス排出量削減に向けた地球温暖化対策の推進	要求のポイント	・電気自動車用急速充電器の維持管理	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策地域推進計画の推進</li> <li>電気自動車用急速充電器の課金システムの導入等の検討</li> </ul>
------	---------------------------	---------	-------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	22,200	6,298	△ 15,902	5,700	5,700	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	12,000		△ 12,000				
	一般財源	10,200	6,298	△ 3,902	5,700	5,700		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	21850	生物多様性保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市環境基本計画 生物多様性ひだたかやま戦略		市長公約
	課			2	総務費	基本分野		2	環境・景観		実施計画事業	生物多様性保全推進事業	
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	項	1	総務管理費	分野	1	地球環境	H28実施計画額		9,500 千円	
	2282			目	19	環境政策費		施策概要	3		生物多様性の保全		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・市民が生物多様性への関心と理解を深めることで、自然環境の保全につなげる。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>その土地本来の木による本物の森をつくることを通じていのちの暮らさを学ぶ「いのちの森づくり」の実施。</li> <li>専門のインストラクターの説明を受けながら、自然公園等で自然を体感する「生物多様性等自然環境学習」の実施。</li> <li>里山をフィールドとして、草木や野鳥、昆虫等と触れ親しむ「山の自然学校」の開催。</li> <li>特定外来生物の駆除や外来生物法の啓発並びに駆除方法の講習会の開催。</li> </ul>
	対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>いのちの森づくりの開催</li> <li>自然環境学習の開催</li> <li>山の自然学校の開催</li> <li>外来生物駆除講習会の実施、奨励金制度の実施</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	いのちの森づくり開催数	回	目標値	15	14	14	14
	算出根拠等		実績(見込)	5	3	1	
活動指標	山の自然学校の開催数	回	目標値	6	6	6	6
	算出根拠等		実績(見込)	6	6	5	
成果指標	いのちの森づくりへの参加者数	回	目標値	310	310	310	310
	算出根拠等		実績(見込)	280	127	30	
成果指標	自然環境学習への参加校数	校	目標値	32	32	32	32
	算出根拠等		達成率(%)	90	41	10	
成果指標	山の自然学校への参加者数	人	目標値	120	120	120	120
	算出根拠等		実績(見込)	202	129	114	
補足			目標値				
	算出根拠等		達成率(%)	168	108	95	

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者負担を掛けない事業であるため、国等の補助金の活用や民間団体等との連携を検討し、市の負担を軽減することが必要。</li> <li>民間団体等の類似する自然環境学習活動と連携した取り組みが必要。</li> <li>自然環境学習については、事前事後学習の実施を呼びかけることでより学習効果を高める取り組みが必要。</li> <li>いのちの森づくりでは、場所の確保が必要であり、民間の協力体制を検討する必要がある。</li> <li>特定外来生物の駆除については、町内や各種団体の自主的な取り組みを促進する必要がある。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境教育の実施にあたっては、民間で実施している活動と連携する等、効率的な環境教育の実施を図っている。</li> <li>小中学生の自然環境学習については、事前事後の学習実施について学校へ呼びかけを行い、出前講座として実施するなどの取り組みを行っている。</li> <li>特定外来生物の駆除については、講習会を実施するとともに、町内や各種団体の自主的な活動が広がるような取り組みに努めている。</li> <li>いのちの森づくりについては、民間への協力を依頼している。</li> </ul>	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度以降も教育委員会及び民間団体等との連携を密にとり、積極的に環境教育活動を進めていく。</li> <li>国、県等の補助金の活用や民間団体等との連携を推進する。</li> <li>外来生物駆除への更なる啓発活動と駆除講習会の開催などによる市民の参画を働きかけていく。</li> <li>いのちの森づくりの場所の確保や実施方法及び民間の協力体制の検討をすするとともに市外への発信に努める。</li> </ul>
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種行事については、参加人数が伸び悩んでいる要因を分析するとともに、他の団体等が行っている自然環境学習活動との連携を視野に入れながら取り組み必要がある。</li> </ul>

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	7,250	7,998	9,455	10,267
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	79	87	104	113
	受益者	全市民	(B)	92,097	91,605	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性への関心と理解を深め、自然環境保全への意識を高めるための各種事業</li> <li>いのちの森づくり</li> <li>山の自然学校</li> <li>自然環境学習</li> <li>特定外来植物の駆除 など</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元町内会や民間団体、地域在住の講師などと連携した環境保全への取り組みや環境学習の実施</li> <li>子供たちへの地域の素晴らしい自然の体感と、自然保護の大切さを学ぶ機会の提供</li> </ul>	事業実施の課題	・より多くの市民や学校等の参加が広がるような仕組みづくりが必要
------	---	---------	--	---------	---------------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	9,455	10,267	812	9,155	9,155	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	3,000		△ 3,000	2,800	2,800		
	その他			0				
	一般財源	6,455	10,267	3,812	6,355	6,355		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	62300	自然公園等管理事業費	予算	会計	1 一般会計	基本目標	2 環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市環境基本計画	市長公約
	課			6 商工費	基本分野		2 環境・景観		実施計画事業	
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	項	2 観光費	分野	1 地球環境	H28実施計画額	60,700 千円	
				2282	目		3 自然公園費		施策概要	1 自然環境の保全と活用

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者による乗鞍山麓五色ヶ原の森の適正な管理運営を推進</li> <li>乗鞍自動車利用適正化協議会による乗鞍スカイラインの適正活用の推進</li> </ul>
	対象者数	90,938 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>乗鞍山麓五色ヶ原の森の適正管理</li> <li>乗鞍スカイラインの適正管理と乗鞍フォーラム開催による乗鞍岳の環境保全啓発の推進</li> </ul>						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		乗鞍山麓五色ヶ原の森の入込者数	人	目標値	7,500	7,500	7,000	7,000
	算出根拠等		実績(見込)	4,953	3,602	3,000		
	達成率(%)		66	48	43			
	成果指標	乗鞍スカイラインの入込者数	人	目標値	200,000	200,000	200,000	200,000
		算出根拠等		実績(見込)	166,774	126,516	135,000	
	達成率(%)		83	63	68			
	成果指標	乗鞍フォーラムの参加者数	人	目標値	500	500	500	500
		算出根拠等		実績(見込)	250	100	200	
	達成率(%)		50	20	40			
	成果指標			目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
達成率(%)								
成果指標			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
達成率(%)								
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。</li> <li>乗鞍については、国、県に対する管理財源確保への働きかけや関係団体等との連携強化を推進し、市の財政的負担の軽減を図る必要がある。</li> <li>気象条件等の影響から乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森の利用者は減少傾向であり、自然に配慮した取り組みは継続しながらも、利用者増加に向けた取り組みを図る必要がある。</li> <li>市民を始め全国からの観光客が安全で快適な登山を楽しむために山岳トイレの設置等登山者の利便性の向上を図る。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗鞍山麓五色ヶ原の森については、環境休養日を設ける取組を継続するとともに、案内人のスキルアップを図るため研修内容等も充実し、五色ヶ原の森自然保護審議会の意見をふまえた取組を実施する。</li> <li>また、入込者数が減少傾向であることから、利用者増加に向けた取り組みを行うとともに、新たな歩道整備に向けた調査検討を行う。</li> <li>乗鞍については、乗鞍自動車利用適正化方針に基づき、事業展開するとともに、課題解決に向けて適正収容力を調査し、目標入込者数設定に向けて検討を進める。</li> <li>山岳トイレの設置にかかる補助制度を施行した。</li> </ul>
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持・改善</li> <li>拡大</li> <li>縮小</li> <li>廃止検討</li> </ul> <p>乗鞍山麓五色ヶ原の森については、自然環境への配慮を図りながらも入込者増加に向けた取り組みを図る。</p> <p>五色ヶ原の森自然保護審議会の意見をふまえた新たな歩道整備の検討や老朽化した施設の維持管理を行う。</p> <p>乗鞍については、地域振興と環境保全のバランスを考えながら、乗鞍自動車利用適正化方針に基づき、事業展開するとともに、課題解決に向けて検討を進める。</p>
二次評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持・改善</li> <li>拡大</li> <li>縮小</li> <li>廃止検討</li> </ul> <p>(担当課評価に同じ)</p>

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 48,175	50,054	68,060	89,717
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 523	546	748	987
	受益者	全市民	(B) 92,097	91,605	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	乗鞍山麓五色ヶ原の森や乗鞍スカイライン、その他自然公園などの適正管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>乗鞍山麓五色ヶ原の森の管理運営(指定管理者制度)</li> <li>乗鞍スカイラインの適正利用</li> <li>中部北陸自然歩道や既設登山道の維持管理</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗鞍山麓五色ヶ原の森の新ルート開設準備</li> <li>自然公園内施設の改修整備による利用者の安全確保</li> <li>ジオパーク・ユネスコエコパークの推進</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境保全と地域振興のバランスや利用者の安全面を考慮した事業の展開</li> </ul>
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	68,060	89,717	21,657	86,971	86,971	積算内容を精査	財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	17,130	23,944	6,814	17,010	17,010		
	その他	302		△302	7,300	7,300		
	一般財源	50,628	65,773	15,145	62,661	62,661		